VOICE

国際教育開発プログラム
修士課程（博士課程前期）2024 年 3 月修了

小田 侑佳 さん
Oda Yuka



国際教育開発プログラム
修士課程（博士課程前期） 2 年

副住 亮太 さん
Fukusumi Ryota



学んでいることは？

途上国の理数科教育／教育のための移動

途上国の理数科教育の課題や授業構成を学んだうえで、JICA 連携プログラムの JICA 海外協力隊に参加。理論と実践を往復しながら途上国の教育課題を研究しました。（小田さん）都市との格差が大きいインドネシア・パプア地域の高校生が、ジャワ島に移動して学ぶプログラムの意義と効果を研究しています。（副住さん）

大学・大学院選びのポイントは？

JICA 連携プログラム／教育開発と専修免許

ザンビア特別教育プログラムがあり、研究と実践を同時に進められる点がキャリア形成に最適であると考えました。（小田さん）
パプア地域の教育を研究するため、国際教育開発を専門的に学べるのが本学でした。また、将来教員になりたい自分にとって教諭専修免許状を取得できることも決め手です。（副住さん）

大学・大学院の魅力は？

英語で学び、国際協力への第一歩を踏み出せる

途上国の教育課題を題材に理論と実践を往復しながら学べ、国際協力のキャリアを志す学生にとって最初の一歩を安心して踏み出せます。（小田さん）すべての授業を大多数の留学生と英語で受けるので、留学並みの経験が得られます。途上国でプロジェクトを担当している教員から直接学べることも魅力です。（副住さん）

先生に聞く

教育人文社会科学研究科
准教授

谷口 京子 先生
Taniguchi Kyoko



専門分野
教育開発学、比較教育学

研究していることは？

サブサハラアフリカやアジア地域における子どもの学力向上を研究しています。学力の低さには家庭環境、入学年齢の遅れ、教員の欠席、学校運営の質など、さまざまな要因があります。学力向上のために学力の高い子どもや学校の特徴をデータに基づいて分析し、学校運営に応用できるような改善策を探っています。

教育開発に関わる多様な分野を横断的に学ぶ環境が整っています

教育政策、学校運営、学力、教員養成、教科教育など、教育開発に関わる幅広い分野を学べます。1 年次は講義を通して基礎的な知識を身につけながら研究を始め、2 年次には修士論文に重点を置いて自分の研究を深めていきます。研究テーマは多様ですが、留学生は教育省や教員養成大学、教職などの実務経験を踏まえた研究が多く、日本の学生は自身の問題意識や経験に基づくテーマに取り組んでいます。仲間と英語で議論しながら、答えのない問いに向き合い、データから分析し、提言する力を養えることが大きな魅力です。

本学を目指す人へメッセージ

大学院で学ぶ意義は、自分が抱いた疑問を出発点として問いを立て、必要なデータを収集・分析し、根拠をもって説明する力を養うことにあります。多様な文化的背景を持つ留学生と学ぶ国際的な環境で培う思考力、分析力、コミュニケーション力は、将来、日本や国際社会のさまざまな場でも生かすことができます。

INFO

取得可能な学位	学士（教育学）、修士／博士（教育学・国際協力学・学術）
定員	教育学部 多文化・グローバル教育学プログラム 13 人 教育人文社会科学研究科 国際教育開発プログラム 修士課程 40 人、博士課程 9 人
学費	53 万 5,800 円（年間）

大学院：〒739-8529　広島県東広島市鏡山1-5-1　☎082-424-4680
学　部：〒739-8524　広島県東広島市鏡山1-1-1　☎082-424-6725

学部　大学院

大学　大学院

大学院 教育人文社会科学研究科 国際教育開発プログラム
教育学部 多文化・グローバル教育学プログラム

広島大学

学部から大学院まで国際教育開発を英語で学べる


研究と実践を通じて世界に羽ばたくための環境が整う

大学の特徴

2025 年に新設された教育学部の多文化・グローバル教育学プログラムは、多文化共生教育・平和教育・国際教育開発を体系的に学ぶことを目的とし、グローバルに協働する実践力を養う。国際協力機関などでの観察実習やインターンシップも多数展開。大学院教育人文社会科学研究科の国際教育開発プログラムでは、実務経験豊富な教員の指導のもと、途上国・地域の教育開発をめぐる多様なテーマの研究を行っている。JICA（国際協力機構）と連携して「ザンビア特別教育プログラム」も実施し、JICA 海外協力隊としてザンビアで理科や算数・数学などを教えながら修士号が取得できる。国際協力に関わる人材としての資質・能力を身につけられると高く評価されている。

国際教育開発における
幅広いテーマの研究をサポート

多様な背景を持つ
留学生と共に学ぶ学習・研究環境

インターンシップ、フィールドワークで
実践力を養う

Pick up 授業紹介 Lectures

国際教育開発入門（教育学部）

社会経済問題の解決を探るうえで不可欠となる国際教育開発分野の基本的な理論と実践について学ぶ入門科目。途上国および先進国の事例を通して、教育と社会経済問題との関係や教育の役割を理解するとともに、不平等の是正や教育改善に向けた課題と対応策を考察する。全担当教員が国際教育協力の経験を持ち、多角的な視点から教育開発を捉えながら、国際協力の現場で応用可能な基礎的思考力の習得を目指す。

教育開発計画論 I（大学院）

教育開発学における主要な研究や事例を通して、SDGs（持続的可能な開発目標）の理念や目標について理解を深めるとともに、SDGs4（質の高い教育をみんなに）に基づく教育計画の基本概念、策定プロセス、実施および評価の方法に関する知識を習得することを目的とする。また、習得した知識を活用し、各国・地域の教育課題を分析、教育政策の立案や評価に応用できる力を養う。最終講義では個人発表またはグループ発表も行う。


少人数でアットホームな雰囲気で学べる学部



多国籍、多様な年代の学生と共に学べる大学院